

## 臼井 正樹 (大学院研究科兼務)

### 2 学術論文

- 1) 臼井正樹. (2018). 共に生きるを考える～相模原障害者殺傷事件～. 精神保健医療福祉白書 2018/2019, 中央法規出版

### 3 その他の著作

- 1) 臼井正樹. (2019). 対人援助と親密圏 ヒューマンサービスを巡る彷徨. ヒューマンサービス研究増刊号. 神奈川県立保健福祉大学

### 4 学会等での活動

- 1) 第9回ヒューマンサービス研究会の開催
- 2) 『ヒューマンサービス研究』8の発刊

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 対人援助学会常任理事 2014.8～2018.8
- 2) 介護福祉士試験委員会委員長 2017.5～2019.4
- 3) 神奈川県社会福祉協議会セルフヘルプ活動支援委員副委員長 2006.8.1～
- 4) 平成30年度(第40回)社会福祉事業団職員実務研究論文審査委員長
- 5) 横須賀市社会福祉審議会委員福祉専門分科会長 2010.4.1～2019.3.31
- 6) 神奈川県社会福祉協議会政策提言委員会副委員長 2011.8.3～2020.3.31
- 7) 日揮社会福祉財団助成審査委員 2013.4.1～2019.6.30
- 8) 葉山町総合計画審議会会長 2013.8.26～2019.8.25

### 6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目 地域保健医療福祉連携論、人権ジェンダー、ヒューマンサービス総合演習、保健福祉行政論、社会福祉専門演習Ⅰ、社会福祉専門演習Ⅱ、ヒューマンサービス論Ⅰ(分担)、社会福祉行財政と福祉計画(分担)
- 2) 大学院担当科目 ヒューマンサービス特論、ヒューマンサービス演習、人事管理育成論(分担)、障害者福祉特論(分担)、保健福祉政策特論(分担)

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長
- 2) ヒューマンサービス研究会世話人代表
- 3) 総務・企画委員会委員
- 4) 教育研究審議会委員

### 9 講演, 放送等

- 1) 基調講演 臼井正樹. 本県の介護福祉人材対策に必要なこと. 神奈川県介護人材確保対策推進フォーラム. 神奈川県社会福祉協議会. 2018.5.14
- 2) インタビュー 臼井正樹ほか. 福祉タイムズ 800号記念特別インタビュー 関係性をいかにつくっていくか. 福祉タイムズ No800. 神奈川県社会福祉協議会. 2018.7.15
- 3) 講演 臼井正樹. 地域力を高めるために. 第10回福祉の学び ボランティア学習会. 横須賀市ボランティア連絡協議会・横須賀市社会福祉協議会. 2018.7.21
- 4) 講演 臼井正樹. 地域の力を活かす. シャローム感謝の集い. 三育福祉会. 2018.8.5
- 5) シンポジスト 臼井正樹. これからの介護福祉を考える. 平成30年度介護福祉士養成施設協会・関東信越ブロック教員研修会. 2018.9.13
- 6) 講演 臼井正樹. 記念講演. 2018年度 敬老の日式典. 社会福祉法人パール. 2018.9.17
- 7) 講演 臼井正樹. ICFと対人援助. 健康な高齢化に関するWHO クリニカルコンソーシアム. 2018.10.11
- 8) 講演 臼井正樹. 介護の本質、目指すもの…一人材定着に向けて施設がすべきこと一. 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 施設庁向け研修会. 2018.12.17
- 9) 講演 臼井正樹. ジェンダーによる性差別の解消に向けて. 逗子高校. 2018.12.19

## 新保 幸男（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 『家庭支援論』（中央法規出版、編著）

### 2 学術論文

- 1) 新保幸男（2018）「子どもの最善の利益」日本子ども家庭福祉学会『第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会要旨集』24 頁～28 頁
- 2) 新保幸男（2018）「最善の利益と自己決定」日本子ども家庭福祉学会『第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会要旨集』30 頁～34 頁
- 3) 在原理恵・新保幸男（2018）「母子生活支援施設専門職の成長とそれに影響する職場環境要因」『ヒューマンサービス研究』第 8 号 35 頁～51 頁
- 4) 新保幸男（2018）「最善の利益と自己決定」日本子ども家庭福祉学会『子ども家庭福祉学』第 18 号 1 頁
- 5) 新保幸男（2019）「貧困家庭の親とその子どもを支える」全国社会福祉協議会『月刊福祉』2019 年 2 月号 30 頁～33 頁

### 3 その他の著作

- 1) 新保幸男・打越友実（2018）「児童福祉法第 2 条の『最善の利益』についての研究：“interest” と “stimulus” との関係を中心として」『日本社会福祉学会関東部会 2017 年度研究大会要旨集』
- 2) 打越友美・新保幸男（2018）「バイスティックの自己決定論をめぐる研究：『stimulus 概念』と『子どもへの支援』との関係を中心として」日本子ども家庭福祉学会『第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会要旨集』102 頁～103 頁
- 3) 赤木拓人・新保幸男（2018）「特別養子縁組における民法 817 条の 7 の要件について：連れ子養子に関する審判例を通じて」日本子ども家庭福祉学会『第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会要旨集』98 頁～99 頁
- 4) 小林理・新保幸男（2018）「社会的養護における専門職の育ちと専門性の指標化くその 2>：A 県施設・機関職員への調査結果から種別の分析を中心として」日本子ども家庭福祉学会『第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会要旨集』60 頁～61 頁
- 5) 新保幸男・小林理（2018）「社会的養護における人材育成等に関する研究：全国調査の第 1 報」日本子ども家庭福祉学会『第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会要旨集』62 頁～63 頁
- 6) 新保幸男（2018）「自己決定と時：児童の最善の利益について考察するために」日本キリスト教社会福祉学会『第 59 回日本キリスト教社会福祉学会全国大会要旨集』
- 7) 小林理・中原慎二・新保幸男（2018）「社会的養護における人材育成等に関する研究：職場研修の実態を中心として」日本保健福祉学会『第 31 回日本保健福祉学会学術集会要旨集』8 頁
- 8) 新保幸男・小林理（2019）「社会的養護分野における専門職の育ち：スーパービジョン

に関する施設長へのインタビュー調査」日本社会福祉学会関東部会『2018年度関東地域ブロック研究大会要旨集』

- 9) 打越友美 (2019) 「バイステックの自己決定論をめぐる研究：1951年論文における“stimulus”概念を中心として」日本社会福祉学会関東部会『2018年度関東地域ブロック研究大会要旨集』
- 10) 赤木拓人・新保幸男 (2019) 「特別養子縁組における父母の同意不要要件に関する一考」日本社会福祉学会関東部会『2018年度関東地域ブロック研究大会要旨集』

#### 4 学会等での活動

- 1) 日本子ども家庭福祉学会 学会誌編集委員会査読委員
- 2) 同上 会員
- 3) 日本社会福祉学会 学会機関誌編集委員会委員
- 4) 同上 学会機関誌査読委員
- 5) 同上 会員
- 6) 日本保健医療福祉連携教育学会会員
- 7) 日本保健福祉学会理事
- 8) 同上
- 7) 日本キリスト教社会福祉学会会員
- 8) 福祉哲学研究会会員
- 9) 全国児童相談研究会会員
- 10) ヒューマンサービス研究会会員
- 11) 第19回日本子ども家庭福祉学会学術集会大会長
- 12) 第31回日本保健福祉学会学術集会大会長

#### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 内閣府 子供の貧困対策に関する有識者会議（座長代理）
- 2) 厚生労働省 社会保障制度審議会臨時委員
- 3) 厚生労働省 社会保障審議会児童部会委員（部会長代理）
- 4) 厚生労働省 社会保障制度審議会児童部会「ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会」委員（委員長代理）
- 5) 厚生労働省 ひとり親家庭等の在宅就業支援事業評価検討会委員（委員長）
- 6) 神奈川県 神奈川県子ども・子育て支援推進協議会（会長）
- 7) 横須賀市 児童福祉審議会委員
- 8) 横須賀市 児童福祉審議会子ども・子育て部会（副部会長）
- 9) 横須賀市 児童福祉審議会子ども育成部会（部会長）
- 10) 財団法人養育費相談支援センター運営会議委員
- 11) 社会福祉法人横須賀基督教社会館 評議員
- 12) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』査読委員
- 13) 神奈川県保育会保育園利用者相談室 第三者委員会委員・運営委員会委員
- 14) 公益財団法人児童育成協会「企業主導型保育事業審査会」（委員長）

## 6 学内教育活動

- 1) 研究指導教員として、大学院生1名の研究指導を担当した。
- 2) 修士論文審査主査として、修士論文2本の審査を担当した。
- 3) 大学院において、「社会福祉原論」「児童福祉特論」「社会福祉調査研究方法論」「社会福祉学特別研究」を担当した。
- 4) 学部において、「ヒューマンサービス論2」「児童福祉論」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「社会福祉専門実習」「卒業論文」の授業を担当した。「社会福祉基礎演習Ⅰ」において「社会福祉学の学び方」について講義した。さらに、「ヒューマンサービス総合演習」の授業において学生の学びの様子を観察した。
- 5) 学科で実施している国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」を担当した。
- 6) 学部ゼミ・大学院ゼミの現役・卒業生を中心とする研究会を開催した。
- 7) 学部ゼミ・大学院ゼミの現役・卒業生を中心とする事例研究会を開催した。
- 8) 学部のゼミにおいて、3年次生4名、4年次生6名の指導を行った。
- 9) ソーシャルワーク専門実習の担当教員として、実習指導及び講義・演習を行った。

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科人事小委員会委員
- 2) 人権倫理委員会委員

## 8 社会貢献

- 1) 資生堂社会福祉事業財団が実施している奨学金支給制度（児童養護施設等へ措置されている児童が大学等へ進学するために支給するものにかかわる審査会の委員長として審査を担当した。

## 9 講演，放送

- 1) 第16回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合「子どもの貧困について」
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講演「児童家庭福祉」5回
- 3) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて児童福祉司資格認定講習会講演「児童家庭福祉」
- 4) 東京都「学習支援について」
- 5) 東京都母子生活支援施設新人研修会研修講師
- 6) 東京都社会的養護専門職スーパーバイザー研修講師2回
- 7) 社会福祉法人多摩同胞会「母子生活支援施設と新しい社会的養育ビジョン」
- 8) 神奈川県里親会教員向け里親研修会「児童福祉法改正と家庭養育推進について」

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 厚生労働科学研究「社会的養護における人材育成等の課題に対する研究（H28-政策-指定-007）」（研究代表者、新保幸男）3年計画の3年目

## 高橋 恭子（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 高橋恭子（2019）第1部第4章第1節 専門職倫理と倫理的ジレンマ.『社会福祉学習双書』編集委員会編. 社会福祉学習双書 2019 第9巻社会福祉援助技術論 I（pp64-72）. 東京：全国社会福祉協議会.

### 3 その他の著作

- 1) 谷口千絵, 村上明美, 高橋恭子, 山本光, 吉中季子（2018）『平成29年度神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センター助成金研究成果報告書 看護職・社会福祉職・教職及び学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果』神奈川県立保健福祉大学.
- 2) 高橋恭子（2018）「私たちの学会発表講座その4」『かながわ全国大会みらいプロジェクト NEWS PAPER』第5号, 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会.
- 3) 高橋恭子（2019）「巻頭言「昭和・平成・そして・・・みらいにつなぐ大会」」『かながわ全国大会みらいプロジェクト NEWS PAPER』第9号, 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会.

### 4 学会等での活動

- 1) 山本光, 村上明美, 谷口千絵, 高橋恭子, 吉中季子（2018）「学生を対象とした性暴力被害者支援の啓発研修会がレイプ神話にあたえる影響とその関係」日本母性衛生学会学術集会第59回大会.
- 2) 村上明美, 谷口千絵, 高橋恭子, 山本光（2018）「看護職および教職をめざす学生が性暴力被害者支援の啓発研修会を受講した際に抱いた思い」日本母性衛生学会学術集会第59回大会.
- 3) 高橋恭子, 大澤祥子, 高崎瑞恵, 堀本久美子, 新堀由美子（2018）パネルディスカッション「一歩、先へー性暴力被害者支援の裾野を広げるためにー」司会.

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 2) 横須賀市男女共同参画審議会委員.
- 3) 横須賀市男女共同参画市民サポーター会議ファシリテーター.
- 4) 日本医療社会福祉協会, 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修運営委員.
- 5) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会, 全国大会実行プロジェクトメンバー.
- 6) 第19回日本子ども家庭福祉学会全国大会 実行委員会事務局長.

### 6 学内教育活動

- 1) 学生サークル「Child Wish」顧問.
- 2) 学生サークル「バスケットボール部」顧問.

- 3) 学部担当科目「医療福祉論」「精神保健学Ⅱ」「社会福祉の歴史と現代社会」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」「社会福祉専門実習」
  - 4) 大学院担当科目「現代の社会福祉」「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「社会福祉特別演習」「社会福祉特別研究」「がん看護学演習Ⅱ」「医療社会福祉実践・政策特論」「医療社会福祉実践・政策演習」「保健福祉学特別研究」
  - 5) 修士論文作成指導 1 名、修士論文主査 1 名
  - 6) 実践教育センター担当科目「保健医療福祉論」
- 7 学内各種委員会活動
- 1) 入試委員会委員長.
  - 2) 作問委員会委員長.
  - 3) 高大連携検討グループ会議委員.
- 9 講演, 放送
- 1) 高橋恭子「かながわ全国大会みらいプロジェクト 学会発表ゼミナール」神奈川県医療ソーシャルワーカー協会, 2018.10.
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 学内協働研究(研究助成B)「社会福祉専門職の業務と専門性に関する総合的調査研究～本学卒業生の地域への貢献に着目して～」研究分担者、研究経費：281 千円

## 西村 淳（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 西村淳(2019)「諸外国における社会保障制度の概要」社会福祉学習双書編集委員会編『社会保障論』全国社会福祉協議会,283-309.

### 2 学術論文

- 1) Nishimura, Jun(2018) Inclusion of Local Residents by the Integrated Community Care System, *Journal of Japanese Law* Volume 23 No.45
- 2) 西村淳(2018)「高齢者の所得保障制度」『公私年金の連携に注目した私的年金の普及と持続可能性に関する国際比較とエビデンスに基づく産学官の横断的研究(総括研究報告書)』平成29年度厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業
- 3) 西村淳(2019)「高齢者に係る所得保障制度の総合的検討」『21世紀前半期の年金と雇用(平成30年度研究報告書)』年金シニアプラン総合研究機構
- 4) 西村淳(2019)「ケアの倫理と関係的権利に基づく社会保障制度の構想—イギリスのケア法制を手がかりに」『年報公共政策学』第13号

### 3 その他の著作

- 1) 西村淳(2018)「高齢者の多様性と貧困」『年金と経済』37(3)
- 2) 西村淳(2018)「高齢者の所得保障制度体系の検討」『きねんきょう』vol.246
- 3) 西村淳(2018)「オーストラリアの年金制度」『年金と経済』37(2)
- 4) 西村淳(2018)「何が「確定」しているのか?」『年金情報』No.763

### 4 学会等での活動

- 1) 西村淳(2018.9)「ソーシャルワークと法の関係に関する日英比較—Social Work Lawにおけるソーシャルワーカーの倫理・資格・役割」日本社会福祉学会第66回秋季大会(金城学院大学)
- 2) 西村淳(2018.9)「ケアの倫理に基づく保健福祉制度の構想」第31回日本保健福祉学会学術集会(神奈川県立保健福祉大学)
- 3) 西村淳(2018.10)「高齢者の所得保障制度体系の検討」第38回日本年金学会研究発表会(JJK会館)

### 5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本年金学会幹事(通年)
- 2) 横浜市国民健康保険運営協議会委員(会長、通年)
- 3) 横須賀市人権施策推進会議委員(委員長、2018年6月から)
- 4) 横須賀市社会福祉審議会委員(高齢福祉専門分科会長、2018年6月から)
- 5) 社会福祉士および精神保健福祉士試験委員(2018年5月から)
- 6) 『年金と経済』編集委員(通年)



- 7) 北海道大学公共政策学研究センター研究員（通年）

## 6 学内教育活動

- 1) 学部の講義担当：「保健医療福祉論Ⅱ」「社会福祉の法と制度」「法と人間」「福祉の哲学」「社会福祉専門演習Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」
- 2) 大学院の講義担当：「医療社会福祉実践政策特論」「医療社会福祉実践政策演習」「保健福祉国際政策特論」「多職種連携システム開発演習」
- 3) 博士前期課程 1 名、博士後期課程 1 名の論文指導
- 4) 実践教育センター：教員・教育担当者養成課程・介護コース「保健医療福祉論」

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院保健福祉研究科運営会議委員
- 2) 大学院保健福祉研究科入試委員
- 3) 自己評価専門部会委員
- 4) 大学院ヘルスイノベーション研究科準備会議委員
- 5) 大学院ヘルスイノベーション研究科入試委員

## 8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける学科説明(2018.8)
- 2) 社会福祉法人一石会苦情解決委員（通年）

## 9 講演、放送

- 1) 「高齢者の所得保障と企業年金制度の諸課題」企業年金協議会（2018年5月）
- 2) 「医療・介護政策の動向」日本医療社会福祉協会（2018年8月）

## 10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 科研費補助金（基盤研究 C）「地域福祉の法的権利構造の解明に関する研究—市民参加支援としての社会福祉の観点から」（研究代表者）
- 2) 科研費補助金（基盤研究 B）「高齢者法の確立に向けて：学際的研究による高齢者特有の法的課題の解明」（分担研究者）
- 3) 科研費補助金（基盤研究 B）「空間と法の相互規定性から見た公法学の再構築—学際的アプローチ」（分担研究者）
- 4) 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業補助金(実社会対応プログラム)「地域特性が生きる医療介護総合計画の評価基準の確立：小児在宅医療を起点にして」（分担研究者）
- 5) 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業（科学推進総合研究事業）)「公私年金の連携に注目した私的年金の普及と持続可能性に関する産学官の横断的研究」（分担研究者）

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究)「社会福祉専門職の業務と専門性に関する総合的調査研究-本学卒業生の地域への貢献に着目して-」(研究代表者)

## 山本 恵子（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 共編著 山本恵子・神野直彦・山本隆 編著『貧困プログラム—行財政計画の視点から』 関西学院大学出版会 第1章 p17~40、第3章(共訳) p61~84 2019.3

### 2 学術論文

- 1) 「こどもの貧困調査と対策の動向」分担執筆 旬報社 賃金と社会保障 1709号 2018.7

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長
- 2) 葉山町地域包括支援センター運営協議会会長

### 6 学内教育活動

- 1) チューター担当
- 2) 保健医療福祉論担当
- 3) オープンキャンパスの学科説明担当

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員
- 2) COI(利益相反)審査会委員
- 3) 介護コースコース長

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究 c 「貧困削減と捕捉率に関する日英比較研究」代表 2017~
- 2) 科学研究費補助金 基盤研究 c 「英国の多問題家族と自治体・社会的企業の共同支援プログラムに関する研究」分担 2016~

## 在原 理恵（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 在原理恵, 新保幸男 (2018). 母子生活支援施設専門職の成長とそれに影響する職場環境要因. ヒューマンサービス研究, 8, 35-51

### 3 その他の著作

- 1) 在原理恵 (2018). 障害のある人の地域居住と個別的な暮らしの実現. 総合リハビリテーション, 46-5, 457-462

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員 (2010.6～)
- 2) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長 (2014.4～)
- 3) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 委員長 (2017.4～)
- 4) 神奈川県障害者生産活動支援事業 工賃アップ推進検討会 構成員
- 5) 神奈川県障害者施策審議会委員 (2016.6～)
- 6) 社会福祉法人自立の家 評議員 (2017.4～)
- 7) 社会福祉法人県央福社会 理事 (2018.6～)

### 6 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座において「社会調査の基礎」を担当した.
- 2) 研究倫理審査委員として, 随時社会福祉領域の院生が作成した研究倫理審査申請書の指導を行った.

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会, 自己評価委員

### 8 社会貢献

- 1) 評価調査者認定研修 (神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構), 講師 (2017.10.6)
- 2) 障害者グループホーム サービスの振り返り (自己評価) 研修 (神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構), 講師 (2018.9.11)
- 3) 評価機関・評価調査者説明会, 講師 (2018.2.18, 2.21, 2.23)

### 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 一般社団法人日本グループホーム学会調査研究会, グループホームを利用する障害者の生活実態に関する調査研究, 厚生労働省平成 30 年度障害者総合福祉推進事業指定

課題 22, 補助金額 9,857 千円, 平成 30 年 7 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 西村淳, 新保幸男, 高橋恭子, 在原理恵, 大島憲子, 中村美安子, 吉中季子, 中越章乃, 種田綾乃, 社会福祉専門職の業務と専門性に関する総合的調査研究～本学卒業生の地域への貢献に着目して～, 研究助成 B (奨励研究), 281,166 円, 平成 30 年 6 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日.

## 大島 憲子（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 筒井孝子, 石川誠, 大島憲子, 他. 介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者 [アセッサー] 講習テキスト. 東京: 一般社団法人シルバーサービス振興会; 2018.

### 3 その他の著作

- 1) 大島憲子, 落合三枝子; 論点「障害児・車の生活支援事業における看護師と介護福祉士の連携」月間福祉, 全国社会福祉協議会. 46-49, 2019.3.1

### 4 学会等での活動

- 1) 第19回日本認知症ケア学会大会 分科会において座長を務める(2018年6月16日)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本認知症ケア学会 評議員 (現, 代議員), 2006.4～現在
- 2) 「日本の認知症ケア学会誌」査読委員 (2006～現在)
- 3) 「認知症ケアジャーナル」査読委員 (2008～現在)
- 4) 認知症ケア専門士論文審査員・面接員 (2006～現在)
- 5) 認知症ケア専門士試験問題作成委員 (2006～現在)
- 6) 横須賀市介護保険運営協議会委員 (2014.9～現在)
- 7) 神奈川県在宅医療推進協議会委員 (2015.2～現在)
- 8) 神奈川県地域包括ケア会議委員 (2015.2～現在) 同副委員長 (2015.4～現在)
- 9) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会委員 (2015.9～現在)
- 10) 日本認知症ケア学会 各種褒章等委員会委員 (2016.6～現在)
- 11) 認知症ケア専門士推進委員会委員 (2016.6～現在)
- 12) 神奈川県住宅政策懇話会 委員 (2017.10～2019.3)
- 13) かながわ感動介護大賞実行委員会 委員 (2018.7～現在)
- 14) かながわ感動介護大賞選考委員会 座長 (2018.7～現在)
- 15) 神奈川県社会福祉審議会 委員 (2018.8～現在)
- 16) 神奈川県社会福祉審議会民生委員審査専門分科会 分科会長 (2018.11～現在)

### 6 学内教育活動

- 1) 1年次介護福祉士必修科目「介護技術演習Ⅰ」における資料作成
- 2) 2年次介護福祉士必修科目「介護技術演習Ⅱ」における教材作成
- 3) 2年次介護福祉士必修科目「形態別介護技術演習Ⅰ」における教材作成
- 4) 2年次介護福祉士必修科目「認知症ケア論」における教材作成
- 5) 3年次介護福祉士必修科目「介護技術演習Ⅳ(医療的ケア)」における教材作成
- 6) 介護福祉士必修科目「介護福祉実習(2・3・4年次計10週間)」巡回指導
- 7) 3年次必修科目「卒業研究」における研究計画指導(6名)

- 8) 4年次必修科目「卒業研究」における卒業論文指導（4名）
- 9) 大学院 修士論文補助指導（M2：1名）
- 10) 茶道サークルの顧問として学生支援.
- 11) 新入生のチューター（平成30年度）としての学生生活支援
- 12) 介護福祉士コース4年生の国家試験対策として「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」「社会の理解」「介護の基本」「コミュニケーション技術」「生活支援技術」「介護過程」「発達と老化の理解」「認知症の理解」「障害の理解」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」を担当し対策を講じた.

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 図書委員会委員 2016.4～2019.3
- 2) 自己評価専門部会委員 2018.4～2019.3

## 8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス

## 9 講演，放送

- 1) 横須賀市市民大学 夏期特別講座（神奈川県立保健福祉大学共催講座）  
テーマ：認知症ケア～「情報」，「なるほど」，「希望する生活につなげるために～  
平成30年8月27日

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：大島 憲子（研究分担者：米津 亮，池田 学）  
研究課題名：行動・心理症状（BPSD）に対する症候対応型認知症ケア技術の開発  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）  
研究期間：2019年4月1日-2022年3月31日（3年間）  
交付金額：4,160千円

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究代表者：西村淳，（研究分担者：新保幸男，高橋恭子，在原理恵，大島憲子，  
中村美安子，吉中季子，中越章乃，種田綾乃）  
研究課題名：社会福祉専門職の業務と専門性に関する総合的調査研究  
～本学卒業生の地域への貢献に着目して～  
補助金名：神奈川県立保健福祉大学 研究助成B（奨励研究）  
研究期間：平成30年6月1日～平成31年3月31日（1年間）  
交付金額：281,166円

## 川村 隆彦（大学院研究科兼務）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会『社会福祉学』査読委員（2006. 1～）
- 2) 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』査読委員（2013. 10～）
- 3) 逗子市地域包括ケア会議委員（2018. 4～）

### 6 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワーク I」「ソーシャルワーク II」「ソーシャルワーク演習 I」「ソーシャルワーク演習 II」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導 I・II」「社会福祉専門演習 I・II」「卒業論文」を担当した。
- 2) 大学院において、ソーシャルワーク特論を担当した。
- 3) 保健医療福祉論 I の科目責任者として、講義及び、現場訪問作業等を担当した。

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員副委員長（2018. 4～）

### 8 社会貢献

- 1) 愛知県厚生連主催の研修会にて、「エンパワメント」をテーマに、福祉従事者へのスキルトレーニングを行う。
- 2) 静岡県社会福祉士会主催の研修会にて、「エンパワメント」をテーマに、社会福祉士へのスキルトレーニングを行う。
- 3) 神奈川県女性相談所主催の研修会にて、「ソーシャルワークの基礎的理解」をテーマに、職員へのスキルトレーニングを行う。
- 4) 東京都保健福祉財団主催の研修会にて、「パワーレスとエンパワメント」をテーマに地域包括の社会福祉士等へのスキルトレーニングを行う。
- 5) 高知県知的障害者福祉協会主催の研修会にて、「エンパワメント」をテーマに、施設長、福祉従事者へのスキルトレーニングを行う。
- 6) NPO 法人ディーセントワークス・ラボ主催の研修会にて、「信頼の絆を深めるための原則」をテーマに、企業障害者雇用担当者向けに、スキルトレーニングを行う。
- 7) 鳥井薬品（株）よりの依頼で、「人権」をテーマに、新人研修を行う。
- 8) 北海道社会福祉士会十勝支部地区主催の研修会にて、「福祉専門職の倫理と利用者の権利擁護」をテーマに、社会福祉士へのスキルトレーニングを行う。
- 9) 沖縄県慢性期医療協会主催の研修会にて、「喪失と悲嘆の道を共に歩む」をテーマに、専門職者へのスキルトレーニングを行う。
- 10) 相模原市社会事業団主催の研修会にて、「障害福祉従事者が持つべき基本的なこころ」をテーマに、専門職へのスキルトレーニングを行う。



## 中村 美安子 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 中村美安子(2019). 社会福祉士養成講座編集委員会編集. 第2章社会福祉の再編と地域福祉 6 介護保険法・社会福祉法と地域福祉,7 これからの地域福祉のあり方報告と安心生活創造事業. 社会福祉学習双書 2019 第8巻地域福祉論(改訂第10版)地域福祉の理論と方法. (64-70). 東京: 全国社会福祉協議会. 2019.3
- 2) 中村美安子(2018).社会福祉法制研究会編集.わかりやすい社会福祉法の手引き. (821-949). 東京: 新日本法規出版.2018.7

### 2 学術論文

- 1) 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛(2019). 住民福祉活動拠点確保における空き家活用に関する研究. 博士論文. 横浜国立大学大学院. 2019.3
- 2) 中村美安子(2019). 空き家活用による住民福祉活動拠点に関する研究—生活支援に取り組む住民福祉活動拠点に適した空き家の条件. 日本建築学会計画系論文集第84巻第758号 (839-848). 2019.1採択, 2019.4掲載予定

### 3 その他の著作

- 1) 中村美安子 (2019). 委員会での検討を振り返って. 横浜市民生児童委員協議会モニター委員会調査報告書. (6). 横浜市民生委員児童委員協議会. 2019.3

### 4 学会等での活動

- 1) 学会発表 (2018). 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛. 空き家情報の集積点としての成年後見人の可能性～空き家活用による住民活動拠点の確保に関する研究. 日本建築学会2018年度大会(仙台市). 東北大学. 学術講演梗概集, 建築計画 7379(823-824). 2018.9.9

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局. 社会福祉推進事業評価委員会委員. 2011.9～
- 2) 横浜市福祉のまちづくり推進会議委員(副委員長). 2013.7.～
- 3) 横浜市こども・子育て会議臨時委員. 2016.11.1～2019.3
- 4) 子ども・若者支援協議会委員. 2016.11.1～
- 5) 横浜市介護保険運営協議会委員. 2018.8～
- 6) 全国民生委員児童委員連合会. 地域福祉推進部会委員. 2011～
- 7) 横須賀市社会福祉協議会日常生活自立支援事業審査会委員. 2013.4～
- 8) 大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員. 2013.9～
- 9) 社会福祉振興・試験センター 介護支援専門員実務研修受講試験委員. 2014.4～
- 10) 狛江市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員. 2016.6.～2018.3
- 11) 横浜市民生児童委員協議会. 民生委員制度創設「100周年記念全国モニター調査」分析・検討に関する助言者. 2018.4～2019.3

- 12) 狛江市社会福祉協議会．コミュニティサーチャルワークアドバイザー．2018.4～

## 6 学内教育活動

- 1) 平成 30 年度社会福祉士国家試験対策講座において「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」の資料作成及び講師を務めた．
- 2) 実践教育センター主催 他職種連携推進課程において「地域生活支援論」の講師を務めた．

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会．2017.4～2019.3
- 2) 公立大学協会社会福祉系部会連絡会担当．2009.4～
- 3) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟担当．2017.4～
- 4) 社会福祉学科各種学会担当．2017.4～

## 9 講演，放送

- 1) 柏市民生委員児童委員協議会全員協議会主催．民生児童委員活動の手がかりをテーマに講義を行った．2017.9
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催．社会福祉主事資格認定通信課程民間・秋期コース第 1 回及び第 4 回において地域福祉論の講義を行った．2018.7. 2019.2
- 3) ソーシャルコーディネートかながわ主催．地域支え合い講座において住民等を対象に地域活動入門の講義を行った．2018.1
- 4) 小田原市社会福祉協議会主催．研修会において市役所職員，社会福祉協議会職員を対象に住民と取り組む支え合いのまちづくりテーマに講義を行った．2018.1
- 5) 金沢区社会福祉協議会主催．地区社協，自治会，町内会分科会合同会議講演会において住民福祉活動に関係する住民を対象に支え合いの地域づくりをテーマに講義を行った．2019.2

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金．基盤研究(C)．研究代表者．中村美安子，大原一興，藤岡泰寛．地区社会福祉協議会活動推進における空き家活用型専有拠点に関する研究．平成 28 年度～30 年 350 万円．2016.4.1～2019.3.31
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金．基盤研究(C)．研究協力者．稲田稲子，藤岡泰寛．高経年団地における高齢期居住の温熱環境リテラシー向上に資する多職種連携モデル構築．多職種連携モデル構築部分に地域福祉の立場で協力．平成 29 年度～31 年度 360 万円．2017.4.1～2019.3.31
- 3) 学内研究助成 B（奨励研究）助成金．副研究者．西村淳（研究代表者），（副研究者）新保幸男他 7 名．社会福祉専門職の業務と専門性に関する総合的調査研究～本学卒業生の地域への貢献に着目して～．281,166 円．2018.4～2019.3

## 行實 志都子（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 行實志都子, 八重田淳, 柴田貴美子, 水野高昌. 精神障害者と家族のピアサポート体験による意識変化と自己成長. リハビリテーション連携科学. 19(2), 132-138 (2018)
- 2) 行實志都子. ピアサポートによる精神障害者の生涯発達に関する研究, 筑波大学大学院審査学院論文 (博士) 2019.1 修了

### 4 学会等での活動

- 1) 学会発表: 「精神障害者退院後生活環境相談員と地域援助事業者の現状と課題～退院後生活環境員に焦点を当てて～」. 第 54 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 17 回日本精神保健福祉士学会
- 2) 学会発表: 「精神障害者退院後生活環境相談員と地域援助事業者の現状と課題～地域援助事業者に焦点を当てて～」. 第 54 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 17 回日本精神保健福祉士学会
- 3) 学会発表: 「職員の意識改革がもたらした、利用者の主体性」日本精神障害者リハビリテーション学会

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 三芳町自立支援協議会 会長 2010.4.1～ 埼玉県三芳町の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める.
- 2) ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 2008.4.1～ 埼玉県ふじみ野市が主催する精神障害者支援に関係する機関や家族、学識経験者が集まり、ふじみ野市の精神障害者への支援を検討する.
- 3) 社会福祉法人結の会 理事 2013.1.1～ 新宿区にある就労継続支援 B 型を実施する社会福祉法人であり、その会の理事を務める.
- 4) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 2016.4.1～
- 5) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 2016.6.1～
- 6) 日本精神保健福祉士協会の精神保健部 権利擁護委員会での委員である.
- 7) 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～  
神奈川県精神保健福祉士協会において、副会長を務める

### 6 学内教育活動

- 1) 行實ゼミ第 4 期の学生が埼玉県三芳町自立支援協議会との共同制作において「ネッコと学ぶ 友だち 100 人できるかな Book」を制作した.

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター国際共同部門委員

## 2) オープンキャンパス担当

## 8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス委員 8月3日(準備)8月4日・5日
- 2) 横須賀高校 Principia I の担当. 担当した生徒たちが「優秀発表賞」を受賞する

## 9 講演, 放送

- 1) アステラス製薬 ピアサポート研修 2018.9. 2019.2
- 2) 川崎市相談支援専門員 初任者研修 2018.9
- 3) 川崎市精神障害者地域生活支援センターはるかぜ ピアサポート研修 2018.10.
- 4) 川崎市相談支援専門員 現任者研修 2018.11 2018.12
- 5) 鎌倉市地域包括支援センター研修 2018.11
- 6) 小田原市ピアサポート研修 2018.11
- 7) 楽天ソシオビジネス株式会社 精神障害のある人との関わり方 研修 2018..12

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 厚労科研;障害者の地域移行及び地域生活支援のサービスの実態調査及び活用推進のためのガイドライン開発に資する研究 分担研究者
- 2) 厚労科研;障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究 分担研究者

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究)「精神障害者退院支援における退院後生活環境相談員と地域援助事業者の現状と課題」

## 吉中 季子 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 志田民吉 編著 岡田行雄・菅原好秀・櫻本正樹・米本光正・吉中季子・山本窓亜 共著 (2018)『福祉ライブラリ 福祉法学』,建帛社 (第 5 章 「社会福祉の法と関連領域」を執筆) pp.162-203

### 2 学術論文

- 1) 吉中季子 (2018)「非正規労働と年金—女性を中心に」『貧困研究』(貧困研究会 学会誌) 第 21 号, pp.47-60
- 2) 吉中季子 (2018)「大学生の国民年金保険料の支払いの意味・制度変遷からの検討と加入の実態」『日本年金学会誌』(日本年金学会) 第 37 号, pp.19-25

### 3 その他の著作

- 1) (論考) 吉中季子「母子世帯の貧困—高齢期への視点」『労働調査』(労働調査協議会) 2018 年 4 月号,pp.4-8
- 2) (テキスト) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 (2019) (執筆者多数につき省略)『社会福祉士国家試験過去問解説集 2019』中央法規,pp83-85
- 3) 谷口千絵, 村上明美, 高橋恭子, 山本光, 吉中季子 (2018)『平成 29 年度神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センター助成金研究成果報告書 看護職・社会福祉職・教職及び学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果』神奈川県立保健福祉大学

### 4 学会等での活動

- 1) 「居住喪失した女性の貧困—一時生活支援事業の事例検討から」  
貧困研究会 於：新潟／新潟県立大学 (2018 年 12 月 9 日)
- 2) 「学生を対象とした性暴力被害者支援の啓発研修会がレイプ神話に与える影響とその関係」(山本光・村上明美・谷口千絵・高橋恭子・吉中季子と共同報告)  
日本母性衛生学会第 59 回学術集会 於：新潟／新潟コンベンションセンター (2018 年 10 月 19 日)
- 3) 「女性の貧困をいかにとらえるか～『世帯奈緒中に隠れた貧困』を可視化するために～」(丸山里美・吉中季子・鳥山まどか・田中智子と分担報告)  
分担報告テーマ「DV 研究における世帯のなかの貧困—経済的虐待の取り扱い—」  
法政大学大原社会問題研究所「子どもの労働と貧困」研究プロジェクト／女性労働研究史研究会 合同公開研究会  
於：法政大学市ヶ谷キャンパス (2019 年 3 月 22 日)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 貧困研究会 選挙管理委員会委員 (2016 年 4 月～現在)

- 2) 貧困研究会 運営委員 (2017年3月~現在)  
第11回全国大会 (於:新潟県立大学) 大会運営委員
- 3) 社会政策学会 春季大会企画委員会 (2018年9月~現在)
- 4) 日本社会福祉学会 代議員 (2018年4月~2020年3月)

## 6 学内教育活動

- 1) 学部授業科目: 公的扶助論、現代社会と福祉、社会福祉の歴史と現代社会、ソーシャルワーク実習指導  
大学院授業科目: 低所得者福祉特論
- 2) 社会福祉士国家試験対策にて、「公的扶助論」、「現代社会と福祉」を担当

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会
- 2) 自己評価専門部会委員
- 3) 動物実験線部会委員
- 4) 公立大学協会社会福祉学系部会 担当
- 5) ソーシャルワーク教育連盟 担当

## 8 社会貢献

- 1) 神奈川県 ホームレス自立支援計画策定会議 座長 (2018年4月~2019年3月)
- 2) 神奈川県 かながわ子ども支援会議 副委員長 (2018年7月~現在)
- 3) 葉山町民生委員推薦会委員 (神奈川県葉山町) (2016年11月~現在)
- 4) 三浦市男女共同参画懇談会委員 (神奈川県三浦市) (2019年1月~現在)
- 5) 神奈川県弁護士会人権賞選考委員 (2018年10月~現在)
- 6) Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 国内助成 選考審査委員 (2018年7月~現在)
- 7) 神奈川県教育委員会主催「ソーシャルワークの視点を持つ教員研修」於: 神奈川県立保健福祉大学 テーマ: 「女性と子どもの貧困」 (2018年8月23日)
- 8) 平成30年度横須賀・三浦ブロック会議研修会 神奈川県民生委員児童委員協議会・横須賀・三浦ブロック会議/逗子市民生委員児童員協議会 於: 逗子市役所 (逗子市) テーマ: 「女性と子どもの貧困について」 (2018年11月21日)
- 9) 三浦市男女共同参画研修 (平成30年度人権啓発活動地方委託事業)  
於: 三浦市役所 (神奈川県三浦市) 「暮らしのなかのジェンダー — 「平成」の終わりにいまいちど考えてみよう—」 (2019年3月25日)
- 10) 社会福祉士実習指導者講習会 講師「実習指導概論」担当 (2018年6月23日)
- 11) 特定非営利活動法人 女性サポート Asyl (あじーる) 理事長

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 18K02152「単身女性の公的年金制度と貧困に関する研究」2018-2020年度 研究代表者

- 2) 科学研究費補助金(基盤研究(A))課題番号 16H02047 「子どもの貧困に関する総合的研究：貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して」 2016-2019年度 分担研究者（研究代表者 松本伊智朗（北海道大学））
  - 3) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 16K02030 「「女性の貧困」を捉える：世帯内配分関係に着目した実証研究の方法の開発」 2016-2018年度 分担研究者（研究分担は2018年度より）（研究代表者 鳥山まどか（北海道大学））
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 学内協働研究（研究助成B）「社会福祉専門職の業務と専門性に関する総合的調査研究～本学卒業生の地域への貢献に着目して～」研究分担者

## 石井 忍（大学院研究科兼務）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003.4～
- 2) 介護福祉士国家試験実技試験委員 2012.6～
- 3) 子ども家庭福祉学会 事務局スタッフ 2018.6
- 4) 日本保健福祉学会 事務局スタッフ 2018.9

### 6 学内教育活動

- 1) 大学：介護福祉実習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ、介護総合演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ、介護技術演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ、形態別介護技術演習Ⅱ、レクリエーション活動援助法、介護過程Ⅰ，Ⅱ、介護技術方法論、介護福祉論
- 2) 大学院：介護福祉特論
- 3) 実践教育センター：教員・教育担当者養成課程 介護コース「介護技術論」講師
- 4) 同上 介護福祉士実習指導者フォローアップ研修講師

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター地域貢献部門
- 2) 進路支援ワーキング

### 8 社会貢献

- 1) シャローム浦上台 第三者委員． 2010.4～
- 2) 横浜市野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015.4～
- 3) 社会福祉法人きしろ社会事業会評議員 2017.4～



## 福士 貴子（大学院研究科兼務）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

1) 横須賀市 児童福祉審議会 委員

2) 同児童福祉審議会措置分科会 副委員長.

基本的に毎月開催される分科会において，市児童相談所より提出された事例に関する審議や里親登録に関する審議などを行った.

### 6 学内教育活動

1) 大学院修士課程において「ソーシャルワーク特論Ⅱ」を分担で担当した.

2) 学部において「ソーシャルワークⅣ」「社会福祉基礎演習Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業論文」を担当した.

3) 国家試験対策講座において「相談援助の基盤と専門職」を担当した.

### 7 学内各種委員会活動

1) FD・SD委員会 委員長

### 8 社会貢献

1) 実践教育センターの教育・研修講師

「多職種連携推進課程」において，経験年数のある，あらゆる年齢層，職種の受講生に，個別支援・チームアプローチとして，「相談支援の基本 面接の姿勢と技法」の講義と演習を合計 12 時間担当した.

## 川久保 寛（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援 ―介護支援拠点および介護相談を手がかりに―」比較法研究 80号（2019年）88-101頁。
- 2) 川久保寛「遺族厚生年金に関する教示の誤りと国家賠償請求」社会保障研究 3巻3号（2018年12月）395-402頁。
- 3) 川久保寛「社会保障における行政の情報提供と年金給付の教示義務」社会保障研究 3巻3号（2018年12月）392-394頁。
- 4) 川久保寛「通所介護記録に記載のないサービスの提供と介護報酬の返還請求」北大法学論集 69巻2号（2018年7月）353-368頁。
- 5) 川久保寛「境界層措置の意義と課題 ―低所得者支援制度としての限界と可能性」週刊社会保障 2973号（2018年5月）40-45頁。
- 6) 川久保寛「判例回顧（社会保険系）」社会保障法 33号（2018年5月）206-210頁。

### 4 学会等での活動

- 1) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援 ―介護支援拠点および介護相談を手がかりに―」比較法学会総会シンポジウム・研究報告（於関西大学）2018年6月3日。
- 2) 川久保寛「黒田報告に対するコメント」総括研究（地域生活のための総合的な支援の研究）法学グループ研究報告会・コメンテーター（於国立社会保障・人口問題研究所）2019年3月26日。
- 3) 川久保寛「高齢者の介護サービス利用支援と法 ―ケアマネジャー・ケアマネジメントを手がかりに―（学会プレ報告）」高齢者法研究会・研究報告（於駒澤大学）2019年3月5日。
- 4) 川久保寛「高齢者と介護サービス利用支援 ―ケアマネジャー・ケアマネジメントを手がかりに―（学会プレ報告）」東京社会保障法研究会・研究報告（於上智大学）2019年2月16日。
- 5) 川久保寛「医療保険・介護保険における所得・資産と自己負担 ―高額療養費および負担限度額認定を中心に―」東京社会保障法研究会・研究報告（於上智大学）2019年1月19日。
- 6) 川久保寛「高齢者と介護サービス利用支援」高齢者法研究会・研究報告（於横浜国立大学）2018年12月1日。
- 7) 川久保寛「ドイツ介護保険制度における介護支援拠点・介護相談の意義」社会福祉学科内研究会・研究報告（於神奈川県立保健福祉大学）2018年11月21日。
- 8) 川久保寛「所得・資産要件付給付と医療・介護保険」東京社会保障判例検討会・研究報告（於早稲田大学）2018年11月16日。
- 9) 川久保寛「高齢者と介護 ―介護保険における相談支援に着目して―」高齢者法研究会（熊本合宿）・研究報告（於菊池グランドホテル）2018年9月13日。

- 10) 川久保寛「高齢者の介護と介護サービス ―住まいの選択を中心に―」高齢者法研究会（熊本合宿）・研究報告（於菊池グランドホテル）2018年9月12日。
- 11) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援 ―介護支援拠点および介護相談を手がかりに―」早稲田大学研究会・研究報告（於早稲田大学）2018年8月7日。
- 12) 川久保寛「国民健康保険における一部負担金の減免の法的性質」東京社会保障判例検討会・研究報告（於早稲田大学）2018年7月20日。
- 13) 川久保寛「ドイツにおける高齢者の意思決定支援 ―介護支援拠点および介護相談を手がかりに―」比較法学会シンポジウム研究会・研究報告（於上智大学）2018年5月12日。
- 14) 川久保寛「ドイツ介護保険法における介護支援拠点の機能と意義」社会保障研究会・研究報告（於立教大学）2018年4月21日。
- 15) 川久保寛「遺族厚生年金に関する社会保険事務所職員の教示の誤りと国家賠償」社会保障法判例研究会・研究報告（於国立社会保障・人口問題研究所）2018年4月14日。

## 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会・編集委員（2016年12月から現在まで）
- 2) 横須賀市社会福祉協議会・よこすか市民後見人等運営事業推進会議委員（2013年10月1日から現在まで。2015年6月2日から副委員長）
- 3) 横須賀市・地域包括支援センター総評担当（2014年度から現在まで）

## 6 学内教育活動

- 1) （学部）社会保障論、権利擁護と成年後見制度、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 2) （社会福祉士国家試験対策）社会保障論、権利擁護と成年後見制度、就労支援サービス、更生保護、模擬試験
- 3) 自主ゼミ

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 時間割ワーキンググループ（2016年4月から現在まで。2018年4月から座長）。
- 2) 国家試験連絡担当（2015年4月から現在まで）
- 3) オープンキャンパス担当（2015年4月から現在まで）

## 8 社会貢献

- 1) 横須賀市大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員（2016年11月から現在まで）

## 9 講演，放送

- 1) 川久保寛「高齢者福祉 ―介護保険、成年後見制度を中心に―」東京都社会保険労務士会社会保障制度研修会・講演（於東京都社会保険労務士会館）2018年11月3日。
- 2) 川久保寛「ドイツ介護保険制度の改革動向と日本への示唆」地域産業研究会・講演（於

釧路公立大学) 2018年10月26日。

#### 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 川久保寛「介護サービスの質の確保と行政の役割 ―ドイツを参照した解釈論的・実証論的研究―」科研若手研究 B 研究代表者、2016年4月から2019年3月まで、500,000円。
- 2) 川久保寛「持続可能な社会保障制度構築のための病院等施設サービス機能に関する総体的比較研究」科研基盤 A (研究代表・加藤智章北海道大学大学院教授) 研究分担者、2015年4月から2020年3月まで、100,000円。
- 3) 川久保寛「高齢者法の確立に向けて ―学際的研究による高齢者特有の法的課題の究明」科研基盤 B (研究代表・関ふ佐子横浜国立大学大学院教授) 研究分担者、2015年4月から2019年3月まで、100,000円。

#### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 川久保寛「地域包括ケアシステムにおける地域包括支援センターの新たな役割 ―ドイツ介護保険法における介護支援拠点および介護相談を参照して―」研究助成 B (奨励研究) 研究代表者、2018年4月から2019年3月まで、279,436円。

#### 14 その他

- 1) 川久保寛「実習マネジメント論」社会福祉士実習指導者講習会 (於神奈川県立保健福祉大学)、2018年6月23日。

## 岸川 学（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 岸川学（2018.10）第1章トピックス 1-0-5 重度知的障害者の地域生活支援．精神保健医療福祉白書編集委員会＝編集．精神保健医療福祉白書 2018/2019 多様性と包括性の構築（pp16）．東京：中央法規．

### 2 学術論文

- 1) 金壽子，岸川学（2018）．知的障がい者の血圧測定に関する文献検討．神奈川県立保健福祉大学誌，16(1)，95-100．
- 2) 金壽子，岸川学（2018）．知的障がい者の疼痛スケールに関する文献検討．神奈川県立保健福祉大学誌，16(1)，101-109．

### 3 その他の著作

- 1) 岸川学(2019.2)『重度障害のある人への地域生活支援を考える』, しらとり No.442v, 社会福祉法人清和会三浦しらとり園．

### 4 学会等での活動

- 1) 口頭発表：岸川学「成人期自閉症者支援の形成に関する研究—日本におけるTEACCHプログラム導入の経緯と課題整理—」, 第9回ヒューマンサービス研究会．2018.10.8
- 2) 事例紹介：「わたしの研究ヒストリー」, 2018年度日本介護福祉学会関東地区公開講座 介護福祉実務者のためのステップアップ研究セミナー, 日本介護福祉学会．2019.2.24

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問委員．2011.5～
- 2) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員長．2011.8～
- 3) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会委員．2012.9～
- 4) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議委員．2013.4～
- 5) 横須賀市障害とくらしの支援協議会くらしを支える連絡会会長．2013.4～
- 6) 神奈川県立岩戸養護学校評議会委員．2014.6～
- 7) 鎌倉市自立支援協議会全体会委員．2016.4～
- 8) 横須賀・三浦障害福祉圏域障害者支援協議会会長．2016.4～
- 9) 社会福祉法人みなと舎評議員.2017.6～
- 10) 一般社団法人花信風基幹相談支援センター事業受託検討委員会ワーキンググループ委員．2017.6～
- 11) 第31回日本保健福祉学会学術集会実行委員．2018.4～2018.9

## 6 学内教育活動

- 1) ソーシャルワークⅢ, ソーシャルワーク演習Ⅰ, ソーシャルワーク実習Ⅱ, ソーシャルワーク実習, ソーシャルワーク実習指導Ⅰ, ソーシャルワーク実習指導Ⅱ, 社会福祉基礎演習Ⅰ, 社会福祉基礎演習Ⅱ, 保健医療福祉論Ⅰ, 形態別介護技術演習Ⅱ「知的障害を伴う自閉症の人への支援(1回)」, ヒューマンサービス総合演習(事例検討)を担当.
- 2) H.S.C(ほっとするクラブ), 卓球サークル, 剣道サークル, 顧問.
- 3) サマースクール2018・おひさマー2018のサポート. 2018.8.15～8.21
- 4) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」「相談援助の理論と方法」を担当. 2018.12
- 5) 発達障害者支援に関する学生自主研究会「マナブジョン」のサポート. 2012.12～
- 6) 神奈川県主催「共生社会実現フォーラム」参加学生のサポート. 2018.12.9
- 7) 筑波大学附属久里浜特別支援学校「平成30年度のびのびまつり」参加学生のサポート. 2019.2.26

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究助成選考専門部会委員. 2018.4～
- 2) オープンキャンパス担当委員. 2015.4～

## 8 社会貢献

- 1) 平成30年度神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育(社会福祉士実習指導者講習会)の企画・運営ならびに講義「実習プログラミング論」を担当した. 2018.6
- 2) 神奈川県立保健福祉大学・神奈川県教育委員会平成30年度ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修において「発達障害の理解と対応」を担当した. 2018.8
- 3) 「自閉症者ボランティア」の養成, 横須賀・三浦地区自閉症児・者親の会における学生ボランティアのコーディネート・自閉症に関する講義を実施. 2018.11
- 4) 本学で開催した「よこすか障害福祉café2018春」「よこすか障害福祉café2018秋」の連絡調整等. 2018.5.26・2018.10.20
- 5) 社会福祉法人横須賀基督教社会館きりんグループにおける自閉症児支援のコンサルテーション. 2017.12～
- 6) 社会福祉法人県央福祉会三浦創生舎における自閉症者支援のコンサルテーション. 2018.9～
- 7) 社会福祉法人ラファエル会鎌倉薫風・山崎薫風における自閉症者支援のコンサルテーション. 2018.4～

## 9 講演, 放送

- 1) 講演:「発達障害の子どもたちの理解と支援」. 第43回全国学童保育指導員学校南関東会場. 2018.6.17
- 2) サブトレーナー:「第21回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー」. 神奈川県自閉症児・者親の会連合会. 2018.7.28～8.1

- 3) 講演：「意思決定支援とは何か～“本人”のより良い生活のために考える!!～」．三浦しらとり園職員研修会．2018.9.21
- 4) 講演：「意思決定支援とは何か～“本人”中心にチームで創ってみよう!!～」．三浦しらとり園職員研修会．2018.11.16
- 5) 講演：「支援困難な発達障害の人への対応～本当に困っているのは誰ですか？」．平成30年度神奈川県発達障害者支援センター支援者向け研修．2018.12.11
- 6) 講演：「これからの自分がどうあるべきか」，社会福祉法人藤沢育成会職員研修会．2019.1.18
- 7) 講演：「地域で安心して暮らすための障害福祉制度・相談・サービス利用について」社会福祉法人あまね父母研修会．2019.1.26
- 8) 講演：「当事者の気持ちになってより良い支援を一緒に考えよう」．社会福祉法人誠心会茜洋舎職員研修会．2019.2.8
- 9) 講演：「障害者の権利擁護」．平成30年度横須賀市障害者虐待防止研修会．2019.2.26
- 10) コーディネーター：「地域で自分らしく生きる～いま、自立とは？自分で決めるとは？～」．平成30年度横須賀市障害とくらしの支援協議会主催研修会．2019.3.3
- 11) 講演：「発達障害の理解と対応」．神奈川県立上溝高校生徒支援研修会．2019.3.25
- 12) 講演：「『相談』とは何かー相談支援専門員の基本姿勢ー」．厚木市相談支援事業所職員向け研修会．2019.3.27

## 種田 綾乃

### 1 著書

- 1) 種田綾乃.(2018). ピアサポートとは何か. 岩崎香編, 障害ピアサポート(p.2-p.11). 東京: 中央法規.

### 2 学術論文

- 1) 種田綾乃, 山口創生, 吉田光爾, 伊藤順一郎, 贅川信幸. (2018). 利用者視点からの臨床スタッフのストレングス志向の支援態度—精神科医療機関を拠点とした多職種アウトリーチチームの介入による影響. *精神障害とリハビリテーション*, *22(1)*, 66-76.
- 2) Sasaki N, Yamaguchi S, Shimodaira M, Sato S, Taneda A, Yoshida K, Ito J.(2018). Development and validation of a Japanese fidelity scale for supported employment. *Administration and Policy in Mental Health* *45(2)*, 318-327.
- 3) 水野雅之, 種田綾乃, 澤田宇多子, 相川章子, 濱田由紀, Naoko Yura Yasui, 山口創生.(2018). ピアスタッフとともに働くこととスタッフの支援態度および職場環境との関連—クロスセクショナル調査. *精神医学*, *60(7)*, 773-781.
- 4) 山口創生, 水野雅之, 佐藤さやか, 松長麻美, 種田綾乃, 澤田宇多子, 吉田光爾, 佐々木奈都記, 下平美智代, 藤井千代.(2018). 日本版個別型援助付き雇用フィデリティ尺度におけるカットオフ値の検証. *臨床精神医学*, *47*, 1431-1438.

### 3 その他の著作

- 1) 種田綾乃.(2018). ピアサポート、ピアサポーターとは. 岩崎香編, ピアサポートの活用を促進するための事業者向けガイドライン (p.5-p.7). 東京: 社会福祉法人 豊芯会.
- 2) 岩崎香編, 秋山浩子, 岩上洋一, 種田綾乃他.(2019). 厚生労働省障害者総合福祉推進事業「ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査研究及びガイドライン作成のための研究」結果報告書. 東京: 社会福祉法人 豊芯会.
- 3) 岩崎香編, 藤井千代, 秋山剛, 山口創生, 種田綾乃, 宮本有紀他(2019). 平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業「障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究」総括研究報告書.
- 4) 千原悠一編, 千坂奏, 高木のり子, 柄澤靖子, 小泉恭子, 種田綾乃, 稲本淳子, 池田朋広.(2018). 精神障がいを持つ方のためのリカバリーワークブック. 群馬: あいメンタルクリニックリカバリーセンター.
- 5) 高木のり子編, 千坂奏, 千原悠一, 柄澤靖子, 小泉恭子, 根本ありす, 秋庭秀紀, 種田綾乃, 池田朋広.(2018). こころの健康をとり戻すための認知行動療法ワークブック. 群馬: あいメンタルクリニックリカバリーセンター.

### 4 学会等での活動

- 1) Nakajima-Yamaguchi R, Morita N, Yamaoka Y, Niwa K, Tamai N, Watanabe A, Taneda A, Omiya S, Ogai Y, Saito T: Association between the difficulties of child-



- rearing and the use of hitting among caregivers of three-half-old in Japan. ISPCAN XXII International Congress on Child Abuse and Neglect, 2018年9月3日.
- 2) 山口創生, 種田綾乃, 吉田光爾: 日本版援助付き雇用フィデリティ尺度と実践者同士の評価者間信頼性—クロスセクショナル調査の追試—. 日本社会福祉学会第66回秋季大会, 愛知. 2018年9月9日.
  - 3) 山口創生, 種田綾乃, 三宅美智, 御菌恵将, 岩崎香: ピアサポーター養成研修への参加と知識・心理的アウトカムとの関連. 日本精神保健福祉学会第7回学術研究集会, 長崎. 2018年9月16日.
  - 4) Akiyama T, Iwasaki K, Yamaguchi S, Miyamoto Y, Taneda A: Development of Peer Supporter Training Programs in Japan. WPA XVIII World Congress of Psychiatry, Mexico City. 2018年9月27日.
  - 5) 種田綾乃, 松長麻美, 澤田宇多子, 山口創生: 統合失調症をもつ当事者が「主体的」に生きるうえでの要素とは—フォーカスグループ・インタビュー調査—. 日本精神障害者リハビリテーション学会第26回東京大会, 東京. 2018年12月15日.
  - 6) 佐藤由美子, 種田綾乃: 精神科医療機関で働くピアスタッフ・ピアサポーターの語りの場づくり—経験を語りあう中から生まれたもの—. 日本精神障害者リハビリテーション学会第26回東京大会, 東京. 2018年12月16日.
  - 7) 種田綾乃, 松谷光太郎, 伊藤順一郎, 福井里江, 岡本和子, 二宮史織: SHAREの開発と試行的実施—成果と課題、ピアスタッフの役割. 日本心理教育・家族教室ネットワーク第22回研究集会大阪大会, 大阪. 2019年2月8日.
  - 8) 種田綾乃, 濱田由紀, 御菌恵将, 相川章子, 荒井浩道: 障害福祉サービス事業所で働くピアスタッフが経験しているピアサポートの相互作用—フォーカスグループインタビュー調査から—. 第38回日本社会精神医学会, 東京. 2019年3月1日.
  - 9) 種田綾乃, 時田陽介, 柳春海, 櫻田みち子: みんなで考える! これからのデイケア—リカバリーのために精神科デイケアができること—. リカバリー全国フォーラム2018, 東京. 2018年9月17日. (企画・シンポジスト)
  - 10) 大曾根希, 伊藤彩香, 種田綾乃, 小砂哲太郎: シンポジウム1「学部第1期卒業生の経験から保健福祉実践を見つめる」本学学部卒業生と座長によるシンポジウム, 日本保健福祉学会第31回学術集会, 神奈川. 2018年9月29日. (シンポジスト)
  - 11) 森田展彰, 川口由紀子, 山口玲子, 丹羽健太郎, 種田綾乃, 大宮宗一郎, 玉井紀子, 新井清美, 田崎みどり, 田中恵次, 大谷保和: 自主シンポジウム「エビデンスを基にした援助者や養育者への支援ツールの開発とその有効な活用方法の検討」. 日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会, 岡山. 2018年12月1日. (シンポジスト)
  - 12) 相川章子, 種田綾乃, 佐藤由美子: デイケアにおけるピアサポートの可能性. 平成30年度日本デイケア学会主催研修会, 千葉, 2018年10月17日. (シンポジスト)
- 5 学会, 協会, 公的団体の委員など
- 1) スクールソーシャルワーク実践研究会 役員 (2015年4月～現在)

- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 学会誌投稿論文等査読小委員会 査読担当者 (2017年10月～現在)
- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 (2018年7月～現在)
- 4) こころのバリアフリー研究会 プログラム委員 (2018年7月～現在)
- 5) 日本精神障害者リハビリテーション学会 第26回東京大会実行委員、査読委員、ポスター発表 座長 (2017年11月～2018年12月)
- 6) 日本精神障害者リハビリテーション学会 第26回東京大会 ポスター発表「2. セルフヘルプ・ピアサポート」座長 (2018年12月16日)
- 7) 日本子ども家庭福祉学会 第19回全国大会 当日運営 (2018年6月2日・3日)
- 8) 日本保健福祉学会 第31回学術集会 大会実行委員 (2018年9月29日)

## 6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：社会福祉基礎演習Ⅰ（分担）、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ（分担）、保健医療福祉論Ⅰ（分担）、ヒューマンサービス総合演習（補助）
- 2) ソーシャルワーク実習の事前・事後指導、実習指導者懇談会・実習報告会の運営、実習指導者講習会の運営
- 3) 新入生チューター担当
- 4) うみかぜ祭社会福祉学科企画の学生サポート

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター研究支援部門 委員
- 2) 入学式・卒業式実行委員会 委員

## 8 社会貢献

- 1) 秦野市教育委員会・教育研究所 専門相談員 (2018年4月～現在)
- 2) 精神障がい者ピアサポート専門員養成研修 講師 (2016年4月～現在)
- 3) SHARE 普及推進委員会 委員 (2017年4月～現在)
- 4) 秦野子ども支援プロジェクト「ゆう」 会員 (2017年4月～現在)
- 5) ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査及び検討に関する委員会 委員 (2018年4月～現在)
- 6) あいメンタルクリニックリカバリーセンター 講師 (2018年9月～現在)、  
WRAP® (Wellness Recovery Action Plan) プログラムの開催・講師 (2018年9月15日、2018年10月20日、2018年11月10日、2018年12月22日、2019年1月26日、2019年2月27日、2019年3月23日)

## 9 講演、放送

- 1) 横浜ピアスタッフ協会主催の「第2回神奈川ピアまつり！」の「ピアにかける熱い思いシンポジウム」に登壇し、リレートークを行った。神奈川、2018年6月18日。
- 2) 公開シンポジウム「子ども虐待のリスクのある家庭をどのように評価・支援するのか？」を企画・開催し、「虐待予防のためのアプリ・サイトの紹介とその使い方」に

- ついて報告を行った。東京，2018年10月8日。
- 3) 障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究班主催の「精神障がい者ピアサポート専門員養成研修」の専門研修の講師を担当した。東京，2018年11月24-23日。
  - 4) 秦野市教育委員会主催の教育相談コーディネーター連絡会議にて「スクールソーシャルワーカーとしての経験をもとに感じていること」についての講演を行った，神奈川，2018年10月23日。
  - 5) 千葉県精神障害者自立支援事業協会主催の「平成30年度千葉県精神障害者ピアサポート専門員養成研修」において、「ピアサポート専門員総論」についての講義を行った。千葉，2019年1月12日。
  - 6) SHARE 普及推進委員会主催の SHARE (Support for Hope and Recovery; 共同意思決定実践サポートツール) 研修会において、「SHARE システム導入による効果とは？～無作為化臨床試験の調査結果の概要～」についての講義を行った。東京，2019年2月24日。
  - 7) 福岡市精神保健福祉センター主催の「平成30年度精神障がい者ピアスタッフスキルアップ研修会②」において、「ピアサポートの活用について他都市の状況」についての講演を行った。福岡，2019年3月26日。
  - 8) ピアサポートの意義および効果に関する包括的研究班主催の PAL-J (Peer and Longitudinal study in Japan) 報告会において、「障害福祉サービス事業所で働くピアスタッフが経験しているピアサポートの相互作用とは～ピアスタッフに対するグループインタビューから～」についての発表を行った。2019年3月19日（東京会場），2019年3月26日（福岡会場）。
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
- 1) 種田綾乃．精神科医療機関におけるピアスタッフの実態と効果的な活用の可能性，科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(B)，2016年4月～2020年3月。（研究代表者）
  - 2) 相川章子，山口創生，種田綾乃，濱田由紀，荒井浩道他．ピアサポートの意義および効果に関する包括的研究，科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(B)，2015年4月～2019年3月。（研究分担者）
  - 3) 岩崎香，秋山剛，藤井千代，山口創生，種田綾乃，宮本有紀他．障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究，厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業，2016年4月～2019年3月。（研究分担者）
  - 4) 岩崎香，秋山浩子，安部恵理子，磯田重行，岩上洋一，内布智之，大隅薫，門屋充郎，彼谷哲志，金在根，後藤時子，栄セツコ，坂本智代枝，四ノ宮恵子，種田綾乃他．ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査研究及びガイドライン作成のための研究，平成30年度障害者総合福祉推進事業，2018年4月～2019年3月。（研究協力者）
  - 5) 森田展彰，川口由紀子，山口玲子，丹羽健太郎，種田綾乃，大宮宗一郎，玉井紀子，新井清美，田崎みどり，田中恵次，大谷保和他．全国調査データベースを用いた児童

虐待の予防・早期介入システムの開発，国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的研究推進事業（社会技術研究開発）， 2015年11月～2019年3月．（研究協力者）

- 6) 地域精神保健福祉機構．共同意思決定システムの推進，日本財団助成金，2017年4月～2020年3月．（研究協力者）

#### 14 その他

- 1) 子育て支援総合情報サイト「こそだてタイヘン.com」の作成（コンテンツ内容の作成、コラムの執筆等） <https://kosotai.com/>
- 2) SHARE 普及推進委員会 ロゴマーク、イメージキャラクターのデザイン <https://share-sdm.accelight.jp/>

## 中越 章乃

### 3 その他の著作

- 1) 「精神保健福祉士国家試験模擬問題集 2019 精神保健福祉の理論と相談援助の展開」中央法規出版株式会社, 選択問題, 事例問題, 解説の作成
- 2) 「2019 精神保健福祉士国家試験過去問解説集」一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集, 中央法規出版株式会社, 解説の作成
- 3) 「平成 29 年度精神保健福祉士全国統一模擬試験 (作問)」一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟, 選択問題, 事例問題, 解説の作成
- 4) 鎌倉市障害者支援協議会精神保健福祉部会(2018)「相談支援のための精神保健福祉情報ガイド☆かまくら」
- 5) 葉山町自殺対策計画策定委員会(2019)「葉山町自殺対策計画」
- 6) 古屋龍太, 高野悟史, 中越章乃ほか(2019)「長期入院者の退院促進・地域定着支援のための戦略ガイドラインの試行～病院・地域統合型支援マニュアルをベースとした圏域体制構築の試み～」病院・地域精神医学 61(2), 152-154.

### 4 学会等での活動

- 1) 中越章乃「効果的援助要素」の活用, 精神科長期入院患者の退院・地域移行支援を加速させる方策～病院・地域統合型支援マニュアル&ガイドラインの提案～内での報告, 第 61 回日本病院・地域精神医学会総会東京、2018.12.13-14 (東京)

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県精神保健福祉審議会委員
- 2) 神奈川県精神保健福祉士協会実習指導ネットワーク委員会委員
- 3) 横須賀市障害程度判定等審査会委員
- 4) 三浦市日常生活自立支援事業契約締結審査会副委員長
- 5) 葉山町自殺対策計画策定委委員会副委員長
- 6) 鎌倉市障害者支援協議会精神保健福祉部会副部長
- 7) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟国家試験合格支援委員会委員
- 8) 地域精神保健連絡協議会地域移行部会委員 (神奈川県西障害福祉圏域)
- 9) 日本子ども家庭福祉学会第 19 回全国大会実行委員

### 6 学内教育活動

- 1) 精神障害者の生活支援システム, 精神科リハビリテーション学, 精神保健福祉援助演習, 精神保健福祉援助技術演習, 精神保健福祉援助実習指導 I, 精神保健福祉援助実習指導 II, 精神保健福祉援助実習, 基礎演習 I, II
- 2) 精神保健福祉援助実習の事前指導 (実習計画書作成等)・事後指導 (実習報告書作成等), 実習巡回指導, 帰校日指導, 実習報告会, 実習指導者懇談会の運営
- 3) 形態別介護技術演習 II 「精神障害のある人の生活支援技術」

4)精神科領域の施設、精神科病院と見学・就職希望学生の調整

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会委員
- 2) 卒業式・入学式実行委員
- 3)横須賀高校 SSH 事業担当

9.講演・放送

- 1)中越章乃「効果的地域移行支援プログラム～研究プロジェクトの取り組みから～」日本社会事業大学専門職大学院リカレント講座,2018.9.1

## 松田 愛美

### 3 その他の著作

- 1) 研究報告：松田愛美（2018）「利用者の尊厳を支える介護の捉え方に対する検討—介護福祉士養成校出身者インタビューから—」『ヒューマンサービス研究 8』60-69.

### 4 学会等での活動

- 1) 第 19 回日本子ども家庭福祉学会全国大会当日運営(2018 年 6 月 2 日・3 日)
- 2) 第 31 回日本保健福祉学会学術集会当日運営(2018 年 9 月 29 日)

### 6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：介護総合演習Ⅰ、介護総合演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(分担)、形態別介護技術演習Ⅱ(分担)、介護技術演習Ⅰ、介護技術演習Ⅱ(分担)、介護福祉論(分担)、介護福祉実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(分担)、社会福祉基礎演習Ⅰ(分担)
- 2) 新入生チューター
- 3) うみかぜ祭社会福祉学科企画アドバイス
- 4) 第 17 回高齢者福祉研究大会学生引率(2018 年 7 月)
- 5) 介護フェア in かながわ学生ボランティア調整(2018 年 11 月)

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 平成 30 年度卒業・修了式／入学式実行員
- 2) 入試業務(推薦入試、センター試験、前期一般、後期一般)

### 8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス学生対応(2018 年 8 月 4 日)
- 2) 社会福祉法人ユーアイ 2 1 太陽の家 逸見倶楽部 運営推進会議委員